

かわかみ

8

2026
No.833

「川上宣言」30年

水を守り、山を守り、人を守る

●主な内容●

「川上宣言」30年
―源流から未来へ―
吉野川・紀の川流域交流学習会
笑顔キラキラ やまぶき保育園
令和8年度防災訓練
結核検診

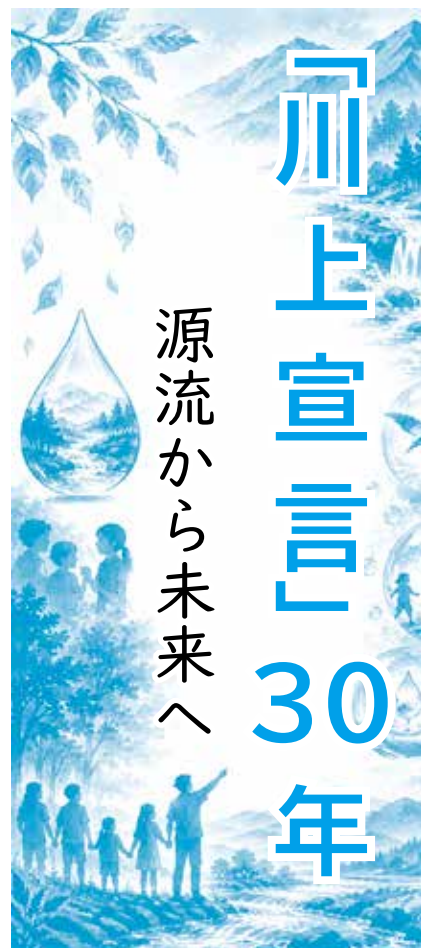
14 9 6 4 2

川上宣言 ―5つの誓い― ③

一、私たち川上は、都市や平野部の人たちにも、川上の豊かな自然の価値にふれあってもらえるような仕組みづくりに励みます。

川上宣言 30年

源流から未来へ



◇誕生

川上村が村づくりの指針として大切にしてきた「川上宣言」が、今年で30年の節目を迎えました。

平成8年（1996年）8月1日、本村は全国に向けて「川上宣言」を発信しました。

きっかけは、宮口侗迪先生（早稲田大学名誉教授）へのご相談でした。当時は都市経済が急成長する中、ダム建設をめぐる世論も高まりを見せていた時代の中で、水源地に暮らす村として誇りをもって自然の価値をどのように次の世代に伝えていくか、村を挙げて模索を重ねた末に形になったのが、この宣言です。

平成6年（1994年）に掲げた「水源地の村づくり」の理念を礎とし、5つの誓いとして今日まで受け継がれています。

◇約740畧の原生林を守る

村の面積269.26平方キロメートルのうち、約95%を山林が占め、室町時代から500年以上続く吉野林業の中心地として、緑を育みながら水の恵みを下流へ届けてまいりました。中でも平成11年（1999年）からは、最源流部・三之公地区に残る手つかずの原生林約740ヘクタールを村が買い取り、「水源地の森」として保全を続けています。先人たちが守り伝えてきたこの森を次代へ手渡すことこそ、川上宣言が掲げる誓いの、何よりの実践です。

◇村内に刻まれた宣言の碑

この理念を広く知っていたため、令和2年（2020年）には、村内の国道169号沿い3カ所に「川上宣言」の碑（モニユメ

ント）を設置しました。源流に暮らす村としての誇りと責任を、訪れるすべての方に感じてもらいたいとの思いからです。

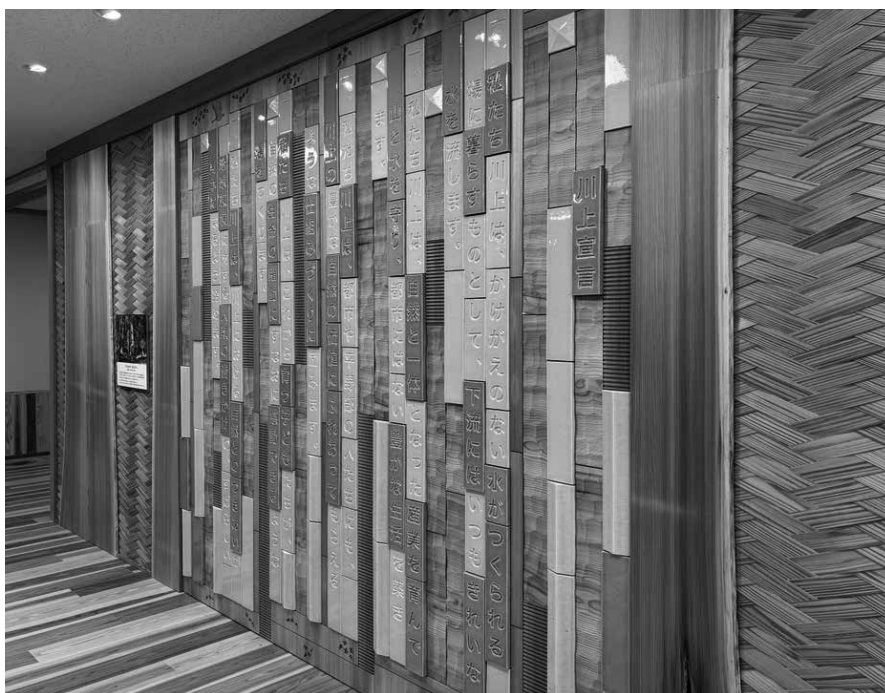
また、令和6年に開校した川上村立かわかみ源流学園のエントランスにも、陶板と吉野杉を用いて川上宣言を設置しました。児童生徒が日々の学びの中で、いつも川上宣言を身近に感じてもらえればと考えています。

この30年で、宣言の理念は少しずつ社会に浸透し、水源地の役割や森林の価値への理解が広がってきました。学校教育の場でもESD（持続可能な開発のための教育）の教材として活用され、次世代へと着実に受け継がれています。森と水の源流館では、この25年にわた

り、森林文化を一体として学ぶ出前授業や体験学習を続けており、源流の村ならではの財産として多くの子どもたちに親しまれています。

◇山を守るとは人を守ること

村の人口は昨年、初めて千人を下回りました。林業の担い手不足や人口減少といった課題に向き合



かわかみ源流学園のエントランスに掲げられた川上宣言

川上宣言

- 一、私たち川上は、かけがえのない水がつくられる場に暮らすものとして、下流にはいつもきれいな水を流します。
- 一、私たち川上は、自然と一体となった産業を育て山と水を守り、都市にはない豊かな生活を築きます。
- 一、私たち川上は、都市や平野部の人たちにも、川上の豊かな自然の価値にふれあってもらえるような仕組みづくりに励みます。
- 一、私たち川上は、これから育つ子どもたちが、自然の生命の躍動にすなおに感動できるような場をつくります。
- 一、私たち川上は、川上における自然とのつきあいが、地球環境に対する人類の働きかけの、すばらしい見本になるよう努めます。

◇30年記念事業のご案内

この節目の年を記念し、村内では「川上宣言30年記念」と冠した行事を予定しています。

この30年で育んできた理念を胸に、これからも山を守り、水を守り、次の世代が安心して暮らせる村づくりを進めてまいります。

皆さまも、この30年を振り返りながら、ぜひ、この夏は村内の記念事業に足をお運びください。

う一方で、地域おこし協力隊として移り住んだ若者たちが村に根を下ろし、結婚や子育てを始める姿も増えていきます。今では村の子どもたちの多くが、移住世帯のお子さんです。

「山を守ることは水を守り、人の暮らしを守ること」。森林が健全であれば水が蓄えられ、下流域へ安定して水が供給され、流域の暮らしが支えられます。川上宣言が掲げてきたこの循環の考え方は、大滝ダム・大迫ダムという「文明のダム」との共存の取り組みとも重なり合いつながり、これからも本村の村づくりの根幹であり続けます。

川上宣言 30 年記念事業

◇匠の聚フォトコンテスト 特別企画「森の鼓動、水のゆくえ」

と き：7月4日（土）から9月23日（水）まで
ところ：匠の聚

◇大滝ダム・大迫ダム・森と水の源流館を巡る「3つのダムめぐり」

各所のダムカードもしくは特別フォルダーがなくなり次第終了
ところ：大滝ダム、大迫ダム、森と水の源流館

◇森と水の源流館 夏休みワークショップ

と き：8月11日（火・祝） 10:00～14:00
ところ：森と水の源流館

◇かわかみ遊水フェスタ 2026

今夏、村内各所で開催

各事業の詳細は
下の二次元コードからご確認ください



匠の聚
フォトコンテスト

3つの
ダムめぐり



夏休み
ワークショップ

かわかみ遊水
フェスタ



一本の川で紡いできた25年

吉野川・紀の川流域交流学習会

◇交流のはじまりと25年の歩み

7月2日（木）、3日（金）の2日間、川上村内において、かわかみ源流学園5・6年生11名（以下、源流学園）と和歌山市立加太小学校5・6年生22名（以下、加太小）による「吉野川・紀の川流域交流学習会」が行われました。

この取り組みは水源地の村づくりの一環として、吉野川・紀の川の上下流に住む子どもたちが積極的に交流し、普段とは違う自然の尊さや水の大切さを学ぶために開催しています。また、大人数での団体行動を通じて日常生活におけるマナーや公衆道徳を身に付けることも目的としています。

この交流の始まりは、今から26年前の平成12年に遡ります。当時、衛星テレビを通じて和歌山市長と川上村長が対談する機会があり、

そのやり取りの中から上下流間の交流という構想が生まれました。

本村ではその頃、大滝ダムの建設等で子どもたちに窮屈な思いをさせているとの村長の思いから、海水浴等の野外活動を計画していましたが、この対談をきっかけに、行き先を和歌山市との交流へと切り替えることになりました。そして和歌山市からの推薦により、加太小学校が交流相手として選ばれ、平成13年、川上村東・西小学校の5・6年生が加太小を訪れたことが、記念すべき第一回目の交流となりました。

以来、両校の児童たちは学年を超えて世代を重ねながら、25年という長い歳月をかけてこの交流を紡いできました。上流の村と下流のまち、生活の景色も違う子どもたちが、一本の川でつながっている

ことを肌で感じ、顔の見える関係を築いてきたこの歩みは、四半世紀という節目を迎えました。これまで交流に関わってこられたすべての方々の存在があってこそ、この日を迎えられました。

当初は毎年、相互訪問していましたが、コロナウイルスが落ち着いた令和4年から隔年で訪問することになりました。

川上村での開催時は、中奥や上多古の川で魚の掴み取りと川遊び、おおたき龍神湖でカヤック、川上村の綺麗な星空を天体望遠鏡で観察、水源地の森の散策、柿の葉寿司づくり体験など川上村のさまざまな自然や風土に触れてきました。

◇1日目、笑顔の再会と川遊び

1日目、川上村に到着した加太小一行は、森と水の源流館を訪れてESD学習や川上村の自然と歴史について学びました。

そして、待ちに待った対面とき、源流学園の6年生は昨年の交流で仲良くなった子との再会を喜び、5年生はどんな子たちが来る



森と水の源流館で流域について学ぶ加太小児童

のか緊張の面持ちで加太小の児童を出迎え、出会いの式に臨みました。

給食を一緒に食べ、源流学園の5年生が考えた、沈黙の島という伝言ゲームで交流が深まりました。

その後は、TocoTocoの森で川遊びの予定でしたが、午前中から降ったあいにく雨で川の水が増水し、あまごの掴み取りのみとなりました。川遊びの中止の連絡を受け、子どもたちはとても残念そうにしましたが、必死になつてあまごの掴み取りに挑戦。捕っ

たあまごは施設の方の指導の下、内臓を処理して夕食時に塩焼きにしました。

さらに飯ごう炊飯でカレー作りにチャレンジ。お米が焦げてしまいうアクシデントもありましたが、見事、カレー・サラダ・フルーツポンを自分たちで作り上げました。

あまごの塩焼きは、なかなか大きいサイズでしたが、2本目を食べる子までおり、綺麗に完食していました。

夕食後、源流学園に戻り、校庭に組み上げた薪で今回の目玉であるキャンプファイヤーを楽しみました。



あまごのつかみ取りを楽しむ源流学園の児童

した。ゲームやキャンプ指導員によるファイヤーショーで盛り上がりしました。

その後、ホテル杉の湯で入浴するころには両校の児童の仲もすっかり深まり、大きな湯舟を楽しんでいました。

そして、源流学園に戻りテント泊の準備。当初は、校庭で寝泊まりする予定でしたが、当日の雨の影響で体育館にテントを張ることに。テント泊を経験したことがない子たちがほとんどで、一日の疲れを感じさせないほど興奮し、大人しく眠れるかどうか心配していました。



カレー作りで一段と仲良くなりました

ましたが、寝床に着くと、疲れの影響からか直ぐに寝息が聞こえ始めました。

◆2日目、撮影体験と流しそうめん

翌朝、慣れないテント泊で熟睡出来なかったのか、あくびをしながら起きてくる子どもたち。しかし、しばらくすると復活し、早く起きすぎた子たちは同行の先生と源流学園周辺を散歩し、その後、朝の体操を行いました。

朝食のおにぎり弁当をペロリと平らげ、匠の聚での自然撮影のワークショップへ出発しました。

最初に一眼レフの使い方を学び、匠の聚の敷地内で班ごとに撮影を行いました。最後に自分たちのベストショットを一枚選び、皆の前で発表していました。

お昼御飯は、源流学園の体育館周辺で流しそうめんを実施。前日とは打って変わった快晴の天気、汗をかきながらも、素麺が流れるたびに必死にすくい、一緒に用意したオードブルも含め、完食しました。

昼食後は、源流学園の6年生が

考えたじゃんけん列車を実施。先生も児童も含め、最後の交流を心から楽しんでいました。

お別れの会で辰巳次長は、「この出会いはとても貴重で、この先の人生のどこかで偶然再会し、川上村を懐かしむきっかけになるでしょう。」と挨拶しました。

この交流事業は、両校の関係者の協力は勿論、様々な事業者や地元の方の協力のもと成り立っています。交流に関わっていただいた皆さま、本当にありがとうございました。



花や友だちなど、お気に入りのパチリ

笑顔キラキラ

やまぶき保育園

やまぶき保育園では自然に親しみながら遊び、学ぶことを大切にしています。その一つが栽培活動です。

「食べることは体を育てるだけでなく、自分の体や健康への関心、命の大切さ、そして人とのつながりを育む大切な学びの一つと考えています。」

子どもたちが自分たちで育て、収穫し、調理して味わう体験を通して、「食べることは楽しさや喜びを感じられるように取り組んでいます。」



じゃがいもいっぱい採れたよ♡



じゃがいものおやつ美味しいな♪



大きな畑で収穫したよ



どうもろこして皮がいっぱい♪



美味しくな～れ

春にみんなで何を育てようか

と話しあい、今年はキュウリなどの夏野菜5種類を植えました。土づくりから苗植え、水やりまで、「大きなあれ」と毎日愛情を込めて世話を続けています。

3月に植えたジャガイモもたくさん実り、みんなで収穫の喜びを味わいました。

さらに、今年も出口ファームにおいて、トウモロコシ狩りを体験させていただきました。

収穫したトウモロコシをその場で切って食べさせてもらって「甘

い!」「おいしい!」と感激。持ち帰ったトウモロコシは子どもたちが皮をむいておやつにいただきました。地域の方との温かな交流

は、食べ物が多くの方に支えられて育つことを知る貴重な機会となり、人とのつながりの大切さを感じる経験にもなりました。

7月6日には、伊藤宏子栄養士に来ていただき、育てたキュウリ、ジャガイモを使ってランチクッキングを行いました。

一番年上のくま組さん(年長)は包丁で野菜を切ることに挑戦します。猫の手にして、手を切らないように慎重に切る姿は真剣そのもの。どれぐらいの大きさに

切ったらみんなが食べやすいかなと考えるながら切ってくれました。

きりん組さん(年中)はキュウリを叩いて昆布と混ぜて和え物を作ってくれました。「キュウリ嫌いだけど食べてみようかな」という声も聞かれ、ひとくち、ふたくと挑戦する姿も見られました。

これらの一連の経験は、食への関心を深めるだけでなく、自分たちの力でやり遂げた達成感も味わうことが出来ました。

そして何より「みんなで食べる」と美味しいね」という喜びをこれからも子どもたちとたくさん味わっていききたいと思っています。

教育の風

教育の風は川上村の教育の様子を伝えるコーナーです。

学校教育・社会教育・社会体育・文化や文化財等広範囲に渡りますが、この風に乗せて川上村の教育の良き「におい」が伝わることを願っています。

◇公共塾人間力編「先達教育」

7月10日（金）、本村出身で日本伝統文化山村流上方舞において活躍中の山村若女^{わかめ}さんを講師にお招きして、かわかみ源流学園後期課程（7・9年生）16名を対象に先達教育を実施しました。

「上方舞」は京阪神で生まれた舞の総称で、伴奏に地歌を使って座敷空間で行われることから「座敷舞」と呼ばれ、独自の発展を遂げてきました。

講師の山村若女さんは、東京・大阪・奈良・吉野にて稽古場を開設されています。当日は、講師の御令室で山村流上方舞の師匠業を務める山村若瑞^{わかみずき}さんも共に指導いただきました。

生徒たちは、将来の職業に関する興味や適性について学ぶキャリア教育を受ける時期でもあり、講師のお話に興味津々と聞き入っていました。

基本姿勢や行儀について学んだ後、地歌「萬歳^{まんざい}」の舞体験をしました。

この中で、扇子の持ち方や扱い方で、太陽・月、そして、波などを表現できることを学びました。

極度に抽象化、簡素化された振りや型で季節や風情、さらには、登場人物の心情までも表現できることに気づき驚いていました。

普段ふれ合う機会が少ない日本舞踊について、体験も含め、わかりやすく楽しく学んでいました。



左：山村若女さん
右：山村若瑞さん

◇公共塾人間力編「金融経済教育」

7月13日（月）、近畿財務局奈良財務事務所から講師を招き、6年生7名を対象に金融経済教育を実施しました。

すごろくゲームを用いて、収支バランスや必要な品と欲しい品の選択、お金の貸し借りはしてはいけないことなど、お金のより良い使い方を学びました。

受講した6年生は、「改めてお金を大事に使わないとだめだと思っただ」「楽しみながらお金のことを知れてよかった」「おこづかいのつかいみちを考えられるようになった」などの感想が寄せられました。



すごろくゲームで必要品を購入する児童たち

◇かわかみ人権ひまわりプロジェクト

川上村人権教育推進協議会では、ひまわりの花言葉「あなたは素晴らしい」「あなたを見ている」に込められた思いを人権教育のテーマとして、笑顔あふれる人権の村づくりをめざす取り組みを進めており、ひまわりをきっかけに人権を振り返る機会となることを目的としています。

6月30日（火）、かわかみ源流学園にて贈呈式が行われ、中平繁和会長から榎田つみ生徒会長にひまわりの苗が贈呈されました。

ひまわりは、配付先で次々と花を咲かせ、見る人を明るく楽しい気持ちにさせてくれます。太陽に向かいのびやかに育つひまわりのように、子どもたちが健やかに暮らすことができるよう願っています。



中平繁和会長からひまわりの苗を受け取る榎田生徒会長

かわかみ源流学園

◇川上村のことを調べよう

学校では、1年生から9年生までの取組である「ふるさと学習」が進んでいます。

各学年のテーマに沿って、村の歴史・産業・取組などを調べています。探検に行ったり、ゲストティーチャーに来てもらったり、インタビュー

に行ったりして、児童・生徒それぞれの疑問や探求心を深めていきます。

村内の多くの皆さまにも、ご協力いただき学習を進めさせていただくことができました。ありがとうございます。この学習に取り組むことで、自分たちの暮らす川上村

の魅力や素敵なおところをたくさん見つけて、村への誇りや愛着をさらに育んでいってほしいです。

学習の様子は、秋に開催する「発表会」にて途中経過を発表していく予定です。ぜひ、村内の皆さまにもご覧いただけたらと思っています。

2年生



ゲストティーチャーの方と大滝探検

1年生



校区の西河を探索しました

4年生



大滝ダム見学

3年生



ゲストティーチャーからかみせ祭りについて聞きました

6年生



ゲストティーチャーから戦争についての話を聞きました

5年生



地域の方から、でんがらづくりを教えてもらいました

9年生



役場の方にインタビュー

8年生



ゲストティーチャーから吉野林業の話を聞きました

7年生



村長さんにインタビュー

◇俳句教室



森井先生も一緒に参加してくださり
7月の句をつくりました

7月8日（水）、後期課程で俳句教室が開催されました。教室では、村の俳句会でも講師を務めておられる、森井美知代先生にお越しいただき、生徒の作品を講評してもらいました。季節の使い方や表現の工夫について丁寧に指導していただきました。先生からは「実体験をもとに詠まれているところから、情景がよく伝わってくる」と評価される作品もあり、生徒たちは自分の句の良さや課題を学ぶことができました。

教室の最後には、参加者全員が7月をテーマに即興で俳句を



見守り隊の方々に
元気にあいさつをして登校しています

作り発表しました。互いに講評することでもさまざまな視点や表現方法に触れることができました。改めて、俳句の魅力を深く味わう機会となりました。

◇元気におはようございます
毎月、15日は「見守り隊」の方々が、校門前で立哨指導を行ってくださっています。川上小学校、川上中学校の頃から続けてくださっている組です。

「あんなに小さかった子が、大きく頼もしくなっていて…」と、声をかけてくださったり、

15 (火)	11 (金)	10 (木)	7 (月)	4 (金)	1 (火)		31 (月)	22 (土)	14 (金)	13 (木)	12 (水)			
見守り隊立哨指導	6年研修旅行	6年研修旅行	大阪大谷大学出前授業	9年学力テスト	2学期始業式	9月	理科教室	サポーターズクラブ交流会	学校閉鎖			8月	前期課程	後期課程

◇8月・9月の行事予定

「元気なあいさつしてくれなあれ」と子どもたちよりも大きな声であいさつを返してください。校門前がほっこり温かい空気ではいっばいになります。

子どもたちも、見守り隊の方々一人一人に元気にあいさつをして、一日を気持ちよくスタートさせることができます。2学期から、引き続きよろしく願います。

令和8年度川上村 防災訓練のお知らせ

台風シーズンの到来に備え、今年度も村防災訓練を実施します。台風の接近を想定し、各地区の避難所への避難訓練や防災に関するワークショップを行います。

訓練当日は「かわかみ放送」や「ライフビジョン」のお知らせを確認のうえ、適切なタイミングでの避難行動にご協力をお願いします。

と き 9月5日（土）午前9時頃から

ところ 各地区の避難所

【問い合わせ先】 総務税務課 TEL 52-0111

令和8年度熊本地震義援金 募金箱設置のお知らせ

令和8年熊本地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

日本赤十字社において義援金の募集を行っており、次の通り募金箱を設置します。

と き 令和8年8月3日（月）から

令和8年10月30日（金）まで

ところ 役場、丹生川上神社上社、かわかみらいふ、ホテル杉の湯、川上診療所、森と水の源流館、匠の聚、かわかみ源流ツーリズム

【問い合わせ先】 住民課 TEL 52-0111

図書館だより

◇涼を分かち合おう！

図書館で地球にやさしいクールシェア

個人が各々でエアコンを使用することを見直し、涼しい場所で集まることで節電や熱中症予防を図る「クールシェア」。図書館もそのスポットのひとつです。館内はWi-Fiも利用できますのでPCでの作業もどうぞ。好きな本を片手に、図書館で涼しくお過ごしください。

図書館カレンダー

●色の日が休館日●

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

◇夏休みといえば読書感想文！ 課題図書を展示中

図書館では現在「第72回青少年読書感想文全国コンクール」の課題図書（小学校の部、中学校の部、高等学校の部）を展示・貸出し中！

課題図書の一部を紹介します。あなたの心を動かす一冊を見つけて、忘れられない夏にしませんか。

〈小学校低学年の部〉



「ララのまほうのことば」
グレイシー・ジャン / 作
やの あやこ / 訳
(工業図書)

〈小学校中学年の部〉



「宇宙でウンチ
みんなの知らない
宇宙トイレのひみつ」
A. ボンドー＝ストーン、
C. ホワイト / 作
L. ケンセス / 絵
千葉 茂樹 / 訳
(あすなろ書房)

◇「川上村の“ええところ”かるた」制作記

～今年度中の完成に向けて進行中！～

2022年（令和4年）から企画がスタートした「川上村の“ええところ”かるた」。制作に向けて計画を進めてきましたが、今年度はいよいよ大きく動き出しています。制作を依頼する業者の決定を終え、村内在住の3名の作家の協力を得て絵札の制作が進んでいます。かるたは今年度内には完成の予定です。どうぞご期待ください。

【問い合わせ先】 村立図書館 Tel 58-7006

ホームページURL : <https://www.vill.kawakami.nara.jp/life/library/>

ホームページにつながります→



かわかもんがゆく。

— 地域おこし協力隊活動記 —



小林 早恵（大滝）
こばやし さえ

残暑お見舞い申し上げます。厳しい暑さが続きますが、皆さまどうぞご自愛ください。地域おこし協力隊2年目の小林です。

青葉の季節からあつという間に初夏が過ぎ、山々の濃さも際立つ中で、柿や朴の葉が生長すると、柿の葉寿司やでんがらなど川上村の郷土料理を学びながら村内外の方々と一緒に拵えていく機会が増えていきました。知れば知るほど手仕事の大変さと奥深さ、先人の知恵に驚かされます。

また、今春から食楽クラブさん



に加入し、郷土料理や自宅できに美味しく作れるお料理を皆さまと一緒に学びながら楽しく参加させていただいています。

地域の方々の優しさに支えられながら一歩ずつですが、今後も村の味と真摯に向き合っています。

山野 秀幸（人知）
やまの ひてゆき

川上村に移住して、二度目の夏を迎えました。川上村は、夏がとてもよく似合います。

春にまいた広葉樹の種や植えた野菜の苗は元気に育ち、畑には色々な虫がいます。鹿や猿、空を舞うトンビや山に響く鳥たちのさ



えずり、川には鮎やアマゴ。川遊びや釣りを楽しむ人の姿もあり、村全体が活気に包まれています。

にぎやかで少し騒がしいなと思うこともありますが、一つひとつに目を向けると、じつにさまざまに生き物たちの生命力を感じることができます。

私の林業活動では、7月から間伐作業が始まりました。作業道があれば木材として活用できますが、ほとんどの木は搬出できず、切り捨てられる事になります。急な斜面を重い道具を担いで歩き、一本一本、地形や木の状態を見極めながら伐っていきます。300本を超える間伐予定の木を前にすると気が遠くなりますが、一日数十本ずつ丁寧に積み重ねることで、森は少しずつ健全な姿へと育っていきます。

賑やかな夏と美しい森は、川上村によく似合います。その森を守り育てる仕事ができ充実した夏を過ごしています。そして間伐材がもっと活かされる仕組みが広がり、この村の豊かな森林の価値がさらに多くの人へ伝わることを願っています。

命の参観日

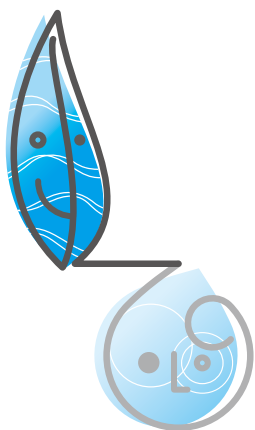
差別をなくす村民集会

7月10日（金）、やまぶきホールにて「第54回差別をなくす村民集会」が開催されました。この集会は、人権問題の解決や人間の尊厳を大切に、人権が真に尊重される自由で平等な社会の構築をめざし、皆さんとともに取り組んでいくために設けています。

今年は、シンガーソングライターの玉城ちはるさんを講師にお招きしました。広島県出身でホストマザーの経験を活かしたトーク&コンサートに会場は魅了されました。



美しい歌声が響き渡りました



森と水の源流館だより

vol. 285

公益財団法人吉野川紀の川源流物語

TEL 52-0888 FAX 52-0388 (水曜休館)



川上村クイズ

つる性多年草。根は和菓子や漢方に使われます。

夏から秋のころに赤紫色の小さな花が房状になった花を咲かせます。

ヒント：秋の七草の一つです。

答えがわかった人は森と水の源流館まで。オリジナルシールをプレゼント。

——未来への風景づくりとは——
かつてこの地にあった、暮らしのぬくもりや、古くは『大和名勝誌』にも紹介された美しい白屋の景観を、村と企業・団体による協働の植栽や草刈りなどの保全活動を通して未来へつなごうと、2011年にこの活動が始まりました。共感いただく参加企業・団体は、現在では18となっております。



源流人会のみなさんと

◇未来への風景づくり——
いっしょに取り組んでいます
当館では毎年、源流のつどい「未来への風景づくり」景観保全ボランティアを白屋集落跡地で実施しており、今年5月にも7名の参加者のみなさんと草刈りや外来植物の駆除等の景観保全活動を行いました。



大和ハウス工業様の活動



奈良ダイハツ様の活動

当館も2010年に「見本園」という区画をお借りして、流域の皆さんとともに活動を行っています。
——景観をつなぐために——
景観の変遷や暮らしとともに守られてきた生態系を保全するモニタリングも重要です。最近では外来種が問題となっています。

今回は白屋での活動を紹介しましたが、当館では引き続き、源流の森が抱える課題から村の民俗・風習まで幅広く調査し、専門家や皆さんと協力して保全活動を進めていきます。館で昔のお話をしていたり、館で昔のお話をしていたり、体力を使う作業まで、皆さんの力でできることで構いません。ぜひ、お知恵やお力をお貸しください。



白屋の生き物かわら版



——一緒に——

企業・団体さんは職員研修や社会貢献活動として外来種植物の駆除もしていただいております。当館では流域の皆さんがどなたでも保全活動に参加できるように場として白屋を活用しながら景観や生き物を記録しています。
取り組みの様子や白屋の景観、生き物を紹介する「白屋の生き物かわら版」をHPで公開していますのでご覧いただき、ぜひご参加ください。

かわかみ源流ツーリズム の 「ひとめぐりかわかみ」

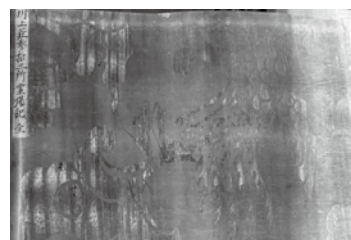


Webサイト

かわかみ源流ツーリズム TEL52-0333 営業時間 午前9時～午後5時（水曜定休）

6月27～28日に予定しておりました「第1回 絵巻巡礼 川上三十三 霊場巡りツアー」は、台風接近に伴い、お客様の安全を優先し中止しました。お申込みくださった皆様には深くお詫び申し上げます。

なお、本ツアーは9月5日～6日に改めて企画を進めております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



川上三十三霊場絵巻（江戸時代）

◆体験プログラム 作って、比べて、味わう。

柿の葉寿司体験

6月20日、柿の葉寿司の里・かわかみ（組合）から「みつは」小林美津子さんをガイドに、柿の葉寿司づくり体験を開催しました。12名様に参加いただき、酢飯づくり、鯖の切り分け、柿の葉で包むまで一連の工程を体験してもらいました。体験後には、村内7店舗のお寿司を食べ比べのほか、小林さんやスタッフとの対談も行われました。

お客様からの「食べ比べが魅力的で、味のチャートマップも分かりやすかった」と好評で、地域の食文化を深く体感するイベントとなりました。



瑞々しい柿の葉が皆を迎え

日本画家 岸上ゆかさんと

オリジナル「扇子」作り

7月4日、匠の聚にて、日本画家の岸上ゆかさんをガイドにオリジナル扇子作りを開催しました。当日は8名様に参加いただき、最初は「できるか不安」と話されていた方も、作り始めると時間を忘れて夢中に。体験後はアトリ工見学や日本画のお話も楽しんでいただきました。素敵な作品が職人の手で美しい京扇子に仕立てられ、お手元に届くのが本当に楽しみです。



扇子になるのが
楽しみ

吉野川支流の鮎釣りを守る

西山さんの鮎釣り教室

7月11日、中奥川で西山啓二さんをガイドに迎え、鮎釣り教室を開催しました。

最大2名の予定でしたが、今回は1名様にご参加いただきました。溪流釣り自体が初めての鮎の友釣りを心ゆくまで満喫していただけたようです。お客様からは「とても楽しく、また来たいです」と嬉しい言葉をいただきました。



初めての友釣りに
大満足

◆体験プログラム

◆プレミアムツアー

- 8月9日 出口ファームの農業入門夏野菜収穫とピザづくり
- 8月22日 作って、比べて、味わう。柿の葉寿司体験
- 8月22日 マルモ先生の木の教室 く木のひみつを探ろう
- 8月15日 ちゃんごかんご（法悦祭）日帰りプレミアムツアー

診療所からのお知らせ

【整形外科診療日】

と き 9月9日（水）

受付時間 午前8時30分～11時30分

※受診される方はマイナ保険証または資格確認証をご持参ください。

【外来診療（予約制）】

受付時間 8時30分～11時30分

休診日 火曜日、土曜日、日曜日、祝日

予約方法 受診の際に次回診療の予約をします。（定期受診）

※お電話での予約はできません。

※初めての受診や、発熱など急患の場合は予約なしで受診することができますが、予約診療が優先となりますのでお待ちいただくことになります。

また、予約の方も急患等に順番が前後する場合があります。ご理解ご協力の程お願いします。

※午後の診察は行っておりません。

◇なお、9月7日（月）は川上村総合検（健）診のため休診します。

【問い合わせ先】 川上診療所 TEL 52-0344

村税等納期限のお知らせ

○村県民税（普通徴収） 2期分

○国民健康保険税 2期分

○後期高齢者医療保険料 2期分

○介護保険料（普通徴収） 2期分

納期限：令和8年8月31日（月）

※当初に納付書を1年分まとめて送付しています。納付の際は、お手元に届いている納付書をご利用ください。

※納期限を過ぎますと、延滞金が発生する場合がありますので、ご注意ください。

※便利で安心な口座振替もご利用可能です。お申込みご希望の際はお問合せください。

（すでに口座振替をご登録いただいている方は、納期限日に指定口座から引き落としされますので、残高のご確認をお願いします）

【問い合わせ先】 総務税務課 TEL 52-0111

なくそう・防ごう！呼吸器感染症

結核は、国内で毎年1,400人以上が命を落としている重大な呼吸器感染症ですが、早期発見・正しい治療によって、自分や周りの人を守ることができます。

せき・たん、微熱などが2週間以上続く場合は「早めに受診」し、特に高齢者は症状が目立ちにくいことから「年1回胸部レントゲン検査」を受けてください。川上村では、40歳以上の方を対象に総合検診の一環で結核健診（胸部レントゲン検査）を無料で行っています。

また、新型コロナウイルス感染症などの呼吸器感染症は、帰宅時や調理・食事の手洗い、咳やくしゃみをするときにマスク、ハンカチ、袖などで鼻と口を覆う咳エチケットでの予防が効果的です。

◆健診に関する問い合わせ先 川上村役場 健康福祉課 TEL 0746-52-0111

◆結核に関する問い合わせ先 吉野保健所地域保健第一係 TEL 0747-64-8132

奈良県広域消防組合消防吏員採用試験のご案内

「人の役に立ちたい」「地元で働きたい」そんな思いを、仕事にしてみませんか。

職 種 消防吏員 資格条件 18歳以上30歳未満

申込方法 組合ホームページに掲載の受験案内にてご確認ください。

【問い合わせ先】 奈良県広域消防組合消防本部人事企画課人事係 TEL 0744-20-1119

児童扶養手当制度をご存じですか？

児童扶養手当は国内に居住する 18 歳到達年度終了前（一定の障がいがある場合は 20 歳未満）の児童を養育するひとり親世帯等へ、生活の安定と児童福祉の増進を目的に支給される手当です。

支給要件となる児童は次の通りです。

1. 父母が婚姻を解消した児童（事実婚の解消を含む）
2. 父（母）が死亡した児童
3. 父（母）が政令で定める程度の障害の状態にある児童
4. 父（母）の生死が明らかでない児童
5. 父（母）が引き続き 1 年以上遺棄している児童
6. 父（母）が裁判所から DV 保護命令を受けた児童
7. 父（母）が引き続き 1 年以上拘禁されている児童
8. 母が婚姻によらないで懐胎した児童
9. 父母ともに不明である児童

また受給者（父母等）、扶養義務者（同居の親族）それぞれに所得制限があり、所得によって全部支給、一部支給、全部停止の 3 段階で判定されます。全部停止になる場合でも所得が減った際などに素早く受給できるよう申請しておくことをお勧めします。

扶養義務者には主に受給者の父母・兄弟、18 歳以上の子などが該当します。また世帯分離されていても同住所であれば原則同居として扱います。

また、児童手当・特別児童扶養手当と併給が可能です。

対象の方でまだ認定請求されていない場合はご連絡ください。

【問い合わせ先】健康福祉課 児童扶養手当担当 TEL 52-0111

特別児童扶養手当制度をご存じですか？

特別児童扶養手当は国内に居住する 20 歳未満の政令に定める程度の障がいを有する児童を監護する父母もしくは養育者に支給される手当です。

受給には所得制限があります。所得制限の対象となるのは、受給者（請求者）本人とその配偶者及び扶養義務者（受給資格者の直系親族・兄弟姉妹等）です。所得制限を超えた場合、手当は全部停止となりますが、所得が減った際に素早く手当を受けるためにも申請しておくことをお勧めします。

その他注意点など

- ・児童手当・児童扶養手当と併給が可能です。
- ・児童福祉施設（通所施設を除く）に入所されている場合、および児童が障がいを支給事由とする年金を受給できる場合は支給対象外となります。

※親の障害年金の加算対象になっている場合は受給できます。

対象の方でまだ申請されていない方は下記問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】健康福祉課 特別児童扶養手当担当 TEL 52-0111

南奈良看護専門学校は令和 9 年度の学生を募集します

学校、入試制度等詳細については、南和広域医療企業団南奈良看護専門学校ホームページをご覧ください。

【問い合わせ先】

南和広域医療企業団
南奈良看護専門学校
入試担当
TEL 0747-54-5061

入学試験の種類	出願期間	入学試験日
指定校推薦	令和 8 年 9 月 28 日（月） ～同年 10 月 8 日（木）	令和 8 年 10 月 17 日（土）
公募推薦 A 社会人 A	令和 8 年 10 月 13 日（火） ～同年 10 月 23 日（金）	令和 8 年 11 月 1 日（日）
公募推薦 B 社会人 B	令和 8 年 11 月 17 日（火） ～同年 11 月 26 日（木）	令和 8 年 12 月 6 日（日）
一 般	令和 8 年 12 月 21 日（月） 令和 9 年 1 月 7 日（木）	令和 9 年 1 月 20 日（水）
公募推薦 C	令和 9 年 2 月 1 日（月） ～同年 2 月 22 日（月）	令和 9 年 2 月 27 日（土）

応急手当普及員講習のご案内

令和8年度の応急手当普及員講習を開催します。応急手当普及員は、心肺蘇生法やAEDの使い方など、応急手当の大切さを地域の皆さんやご自身が所属する事業所の仲間に伝えることができる資格です。家族や地域の安心を支える“応急手当の伝え手”として、あなたも活躍してみませんか？

と き 令和8年10月7日（水）から令和8年10月9日（金）

と ころ 奈良県広域消防組合 消防本部（橿原市慈明寺町149番地の3）

申込期間 令和8年9月10日（木）から令和8年9月25日（金）まで

申込方法 電子申請（オンライン申請）

【問い合わせ先】 奈良県広域消防組合大淀消防署 TEL 0747-52-1199



広域消防組合
Web サイト

川上村人権擁護委員のご紹介

橋本 しま子（はしもとしまこ）

朝町 葉子（あさまちようこ）

※令和8年7月1日付で、橋本しま子氏が再任されました。

人権擁護委員とは、川上村から推薦し法務大臣から委嘱された方々です。地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害から被害者を救済したり、地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるよう啓発活動を行っています。

【問い合わせ先】 住民課 TEL 52-0111

こまっけない？なやんでない？いっしょにかんがえよう！

いじめ・体罰・不登校・児童虐待などのこどもの人権に関わる問題について、人権擁護委員及び法務局職員が下記のとおり無料・秘密厳守で相談に応じます。

と き 令和8年8月28日（金）から同年9月3日（木）まで

連絡先 0120-007-110（全国一斉「こどもの人権相談」）

対 象 県内在住の児童・生徒及びその保護者などの大人

【問い合わせ先】 奈良地方法務局人権擁護課 TEL 0742-23-5457

新企画「かわかみみんなで写真館」がスタートします！

このたび新しく「かわかみみんなで写真館」を開設します。

「川上村」と「みんなでつくる」を掛け合わせたこの企画は、読者の皆さんから写真を提供していただき、紙面をともに作りあげる、双方向の広報紙を目指す取り組みです。

村の風景、季節の行事、日々の営みのようすなど、皆さんが「心動いた」瞬間の写真をお寄せください。

（裏表紙のお誕生日の掲載がない号に「かわかみみんなで写真館」を掲載します）

ご応募について

○応募は川上村につながる内容であれば、どなたでもご参加いただけます。

○応募はインターネットからお申し込みください。

（右の二次元コードもしくはURLからご応募ください）

○応募に際し、著作権、肖像権には十分にご配慮ください。

被写体に人物が含まれる場合は、必ずご本人（または保護者）の同意を得てください。

○広報紙への掲載（二次利用を含む）に同意の上ご応募ください。

【問い合わせ先】 総務税務課 TEL 52-0111



<https://logoform.jp/f/pVx3p>



川上俳句会

森井美知代選

特選

「慰霊の日」終へ沖縄は梅雨明けぬ 弓場 盛正 (中 奥)

評 沖縄は、太平洋戦争の末期に日米両軍の激戦地。最近この報道が、テレビなどで大きく取り上げられている。この時期が終わると、沖縄ではもう梅雨が明けるといふ実感、その思いが伝わってくる。

特選

釣り終へて辺りかまはず丸裸 前田 景子 (大 滝)

評 吉野川には、あちこちから釣り人が来る。比較的浅瀬であるので、日中ずっと川中に立ち尽くしている姿を見かけることが多いが、釣り終えて着替えるのを、作者が見たのであろう。この思い切った表現が読む人の心をつかむ。

特選

夏草や井戸の深きに声はねて 辻 佐和子 (吉野町)

評 この頃は水道が中心であるので、井戸水を使う人が随分少なくなってしまうが、以前は夏に井戸替えをして掃除する姿が多く見られた。一家揃って井戸を見下ろしているのである。



準特選

夏服の皺ひつぱつてみても皺 入選

入選

頑なに生きるのもよし冷奴
秋風に静もる神変大菩薩
杉山に霽の立ち込む梅雨入かな
苔の花吉野の里の廃校に
雷の落ちたる音や立ちつくす
ダブル台風地震も仲間に加はりて

選者吟

鑑真忌抹茶をたてて修しけり

中田 成子 (松原市)

上田 一郎 (伯母谷)

辻井 清子 (大 滝)

松本 全代 (大 滝)

宮川美枝子 (吉野町)

北川 幸子 (吉野町)

酒井嘉寿子 (御所市)

てんいち先生



(川上村人権・同和問題啓発活動推進本部)





今月号から始まった新企画です。詳しくは16ページ最下段をご覧ください。

手塩にかけた愛の結晶

菊谷 浩直さん（大滝）

手間がかかるバラの手入れの中でも、寒肥、冬の剪定、月3回の消毒は大仕事。剪定では株ごとに枝を半分ほどまでに切り詰めます。そんな地道な手入れの積み重ねが、この一枚の写真に凝縮されています。

夏の日差しを受けて輝く真紅の花びらは、まさに愛情の結晶。日々の小さな積み重ねが、村の風景に彩りを添えています。



かわかみの生き物



ネジバナ

梅雨が明ける頃、芝生や花壇で小さなピンクの花を連ならせる植物が姿を見せる。ネジバナは身近に見られる野生ランの一種で、均等に茎を巻き上げながら花を咲かせる姿を身をよじるほど一途に相手を想う心になぞらえた「思慕」という花言葉が与えられており、女性的で可憐な花だと言える。

希少種が多いランの仲間において例外的に日当たりの良い場所であれば雑草のごとくどこにでも生え、何なら片づけ忘れたプランターの土にも生える。なのに、鉢植え栽培には適さない。複数の土壌菌類から栄養を得ているネジバナは、土壌条件が合わず菌類の多様性が維持できない植木鉢の中では花言葉の「思慕」のとおり土壌菌類に思いを募らせその身を萎ませてしまう。

かわかみ応援寄附金

樋口 芳夫 様（京都府）
井上千浪 様（大淀町）

社会福祉協議会への寄付

10万円 坂口 庄一 様（檀原市）
亡き父の供養のため

お詫びと訂正

広報かわかみ7月号2頁14行に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

正：田村陽稀くん

村の人口

7月31日現在

人口総数 1,137人（+1人）
男 539人（+2人）
女 598人（-1人）
世帯数 689世帯（+1世帯）

7月中の異動

転入 3人 転出 1人
出生 0人 死亡 1人

広報かわかみ

令和8年8月7日発行

発行 奈良県川上村／編集 川上村広報編集委員会
〒639 3594 奈良県吉野郡川上村大字迫1335番地の7
TEL 0746-1521011
ホームページアドレス <https://www.vil.kawakami.nara.jp>
メールアドレス soumu@vil.nara-kawakami.jp